

型名コード / 付加仕様コード (付加仕様コードは指定を  
しない場合は記入不要)

## VM-793B-A-01

※本仕様書は IDEC 株式会社または、株式会社村田製作所製品のみを使用する場合の仕様を記載しておりますが、弊社製品も同時に使用いただけます。  
弊社製品に関する仕様については、仕様書 No. 6H21-068 VM-773B-A infiSYS アナリシスビューを参照ください。なお、同時使用のシステム要件は本仕様に従いま  
す。  
また、IDEC 株式会社または、株式会社村田製作所製品は、e-SWiNs 920MHz シリーズとして扱うため、同時使用の際は接続最大台数にご注意ください。

## 仕 様

## 接続機器

ゲートウェイ(親機)<sup>1\*3</sup> 登録台数 : 8 台  
接続センサ(子機)数 : 63 台/ゲートウェイ(親機) 1 台

## 無線式センシングシステム

型名コード	製品名
ES3M-VSM <sup>2</sup>	ES3M-VS 形 防爆振動センサ
LBAC0ZZ2TF <sup>3</sup>	振動センサユニット

<sup>1</sup> UDP 通信方式のみに対応しています。

<sup>2</sup> IDEC 株式会社の製品です。お問い合わせは販売元へご連絡ください。

<sup>3</sup> 株式会社村田製作所の製品です。お問い合わせは販売元へご連絡ください。

## 対応モード

本ソフトウェアは、各センサ(ES3M-VSM, LBAC0ZZ2TF)の速度モード<sup>4</sup>のみに対応しています。  
その他のモード<sup>4</sup>には対応していません。

<sup>4</sup> 各モードの仕様は販売元へお問い合わせください。

## 収集データ

	オーバーオール		FFT 分析ピーク値 (加速度 Top2, 速度 Top3)	温度
	加速度	速度		
FFT あり	○	○	○	○
FFT なし	○	—	—	○

## 短期/長期データ保存機能

## リアルタイムデータ (短期データ)

接続機器から受信したデータをリアルタイムデータとして保存します。

保存期間	10 年 <sup>5</sup>
------	-------------------

<sup>5</sup> 保存期間以前のデータは、自動的に削除されます。

保存期間は変更可能です。(1ヶ月, 2ヶ月, 3ヶ月, 6ヶ月, 1年, 2年, 3年, 5年, 10年)

## ヒストリカルデータ (長期データ)

長期間の傾向の確認を目的として、接続機器から収集したデータの統計演算  
(最大値、最小値、平均値)を行い、ヒストリカルデータとして保存します。

演算周期	24 時間
保存期間	10 年 <sup>6</sup>

<sup>6</sup> 保存期間以前のデータは、自動的に削除されます。

## 機能

Web 表示	Web ブラウザを用いて、社内 LAN 経由で本ソフトウェアにアクセスできます。
解析 <sup>6</sup>	接続機器から収集したデータを用いて傾向グラフや解析グラフを表示できます。
警報	振動 OA、プロセス(温度等)および周波数帯域警報が設定できます。
グラフ データ出力 <sup>7</sup>	グラフに表示したデータをファイル(CSV)に出力できます。
メール送信	警報の発生状況を警報発生時または定期的にメールで受け取れます。
レポート ファイル出力 <sup>8</sup>	警報発生時または任意の時点のデータ(トレンド、スペクトル)をファイルに出力できます。
簡易診断ツール 出力	周波数分析した結果の周波数と振幅を用いた傾向確認および簡単な診断を行うことができます。
データファイル 出力 <sup>6</sup>	収集したデータや警報設定値などを CSV ファイルに出力できます。
Modbus/TCP 通信 (サーバ)	infiSYS 3.0 の測定値、ステータスを Modbus Client 機器へ出力できます。

<sup>7</sup> サンプリング周波数、周波数分解能、上限周波数、ライン数は参考値です。

<sup>8</sup> Top2(加速度)または Top3(速度)スペクトルのデータが表示されます。

## 画面

## 一覧

測定値一覧 (無線)	接続機器から収集した現在の測定値を一覧形式で表示します。
デバイス 状態一覧	通信コンバータ <sup>9</sup> との通信状態を表示します。
モジュール 状態一覧	接続機器(子機)の情報や通信状態を表示します。 なお、電池残量は目安の値です。
警報履歴	警報の発生・復帰履歴を表示します。
システム履歴	システム異常(通信異常)の発生・復帰履歴を表示します。
レポート一覧	警報発生時に作成されたレポートの情報を一覧で表示します。
エリア・マシ ン表示	プラント内の機械と取付センサの構成を表すマシンツリーの作成 ができます。 振動解析メニューまたはフィルタ使用時にマシンツリーから測定 点の選択ができます。 なお、1つのエリアに登録可能なマシン数は 100 台です。エリア 数の登録上限はありません。

<sup>9</sup> infiSYS3.0 にて各センサ(ES3M-VSM, LBAC0ZZ2TF) の計測データを収集するためのツ  
ール

## ▲ 注意

- 本ソフトウェアは、UDP 通信方式の「ES3M 防爆振動センサおよび中継機の電文仕様 V2.3 2022/12/29」のみに対応しています。
- 対応 OS は、VM-773B-A infiSYS アナリシスビューと異なります。ご注意ください。
- ご使用の際は、接続機器の仕様をご確認いただきご使用ください。接続機器の仕様や機能、メーカーの仕様変更により接続できない場合もございますのでご了承ください。
- ゲートウェイの SD カード内のデータは取り込めませんのでご了承ください。

## 仕 様

## 画面

## 解析機能

リアルタイム トレンド	接続機器から収集した測定値の傾向グラフを表示します。
ヒストリカル トレンド	接続機器から収集した測定値を統計処理(代表値、最大値、最小値、平均値)したデータの傾向グラフを表示します。
スペクトル	周波数解析結果のスペクトルのグラフを表示します。
ウォーター フォール	スペクトルデータを時系列に並べたグラフを表示します。

本ソフトウェアは接続機器および測定対象の種類によって表示可能な解析・診断機能が変わります。

解析グラフ	振動	プロセス
リアルタイムトレンド	○	○
ヒストリカルトレンド	○	○
波形グラフ	—	—
スペクトルグラフ	○ <sup>*8*10</sup>	—
ウォーターフォール	○ <sup>*8*10</sup>	—
簡易診断ツール(Top10 トレンド)	○ <sup>*8*10</sup>	—
簡易診断ツール(Top10 診断)	○ <sup>*8*10</sup>	—

○：表示する、—：表示しない

\*8 Top2(加速度)または Top3(速度)スペクトルのデータが表示されます。

\*10 「FFT なし」設定の場合は表示、または使用できません。

## 対応バージョン

製品	型式	バージョン
infiSYS3.0	VM-773B-A	Ver. 1.8.0 以降

## 供給形態

DVD-ROM

## 要 件

## システム要件

## infiSYS ビューステーション\*1 (データ収集・監視用)

CPU	Intel Core i5 以上
メモリ	16GBByte 以上
OS	Windows 10 IoT Enterprise 2021 LTSC (64bit) Windows 11 Pro Windows Server 2022 Standard
ストレージ	必要な容量はシステム構成(接続機器、測定パラメータ点数、データ収集条件)に依存(補足参照)
グラフィック	解像度 1366×768 以上(推奨 1920×1080)
Web ブラウザ	Google Chrome、Microsoft Edge(Chromium)
ドライブ	外付けまたは内蔵の DVD-ROM ドライブ
ネットワーク	Ethernet 100 BASE-TX 以上

\*1 本ソフトウェアをインストールした PC を infiSYS ビューステーションと呼称します。  
※ 簡易診断ツールやレポートファイルを開覧する場合は別途 Microsoft Excel 365 または 2019 以降が必要です

## ユーザ PC (閲覧用)

CPU	Intel Core i5 以上
メモリ	16GBByte 以上
OS	Windows 11 Pro 推奨
グラフィック	解像度 1366×768 以上(推奨 1920×1080)
Web ブラウザ	Google Chrome、Microsoft Edge(Chromium)

※ インストールする専用ソフトウェアはないため、ストレージ要件はありません。  
※ 簡易診断ツール、レポートファイルを開覧する場合は別途 Microsoft Excel 365 または 2019 以降が必要です。

## 補足

全般	infiSYS ビューステーションの長期間の安定性や信頼性を向上させたい場合はサーバ PC や FAPC(Factory Automation PC)を推奨します。また、ストレージの耐障害性を向上させたい場合はストレージの RAID 構成を推奨します。
CPU	infiSYS ビューステーションおよびユーザ PC の CPU は Intel Core i3 でも動作しますが、ウォーターフォールグラフの視点変更の操作を行ったときの CPU 負荷率が高いため、Intel Core i5 以上を推奨します。 Modbus Server として使用する場合、Intel Core i7 3.2GHz 以上を推奨します。
メモリ	infiSYS ビューステーション およびユーザ PC のメモリは OS およびブラウザを起動した状態で約 4GBByte を消費するため、16GBByte 以上を推奨します。 Modbus Server として使用する場合、16GB 以上を推奨します。
OS	infiSYS ビューステーションおよびユーザ PC の OS には Windows 10 Home、Windows 11 Home は使用できません。
ストレージ	infiSYS ビューステーションのストレージはインストールの際に約 2GBByte が必要で、運用時には接続する機器および測定パラメータ点数により使用量が異なります。以下に、想定する使用条件によるストレージ使用量の目安を示します。(保存期間はリアルタイムデータ、ヒストリカルデータ 10 年となります。) また、警報発生時のレポートファイルは 1 ファイル約 2Mbyte を使用します。ストレージ容量については、バックアップ時の領域も考慮して使用量の 2 倍以上の容量を確保することを推奨します。

## HDD 使用量の例

リアルタイムデータ 10 年分(測定間隔 6 時間)のデータ量で試算

想定使用条件	使用量
親機 1 台、子機 8 台 (子機 1 台あたりのパラメータ数 4 点)	47.3MByte
親機 1 台、子機 63 台 (子機 1 台あたりのパラメータ数 4 点)	372.5MByte
親機 8 台、子機 504 台 (子機 1 台あたりのパラメータ数 4 点)	2.9GBByte

※ 本仕様書に記載された項目は、予告なく変更する場合があります。  
※ 記載された会社名及び商品名は、各社の商標および登録商標です。

構成

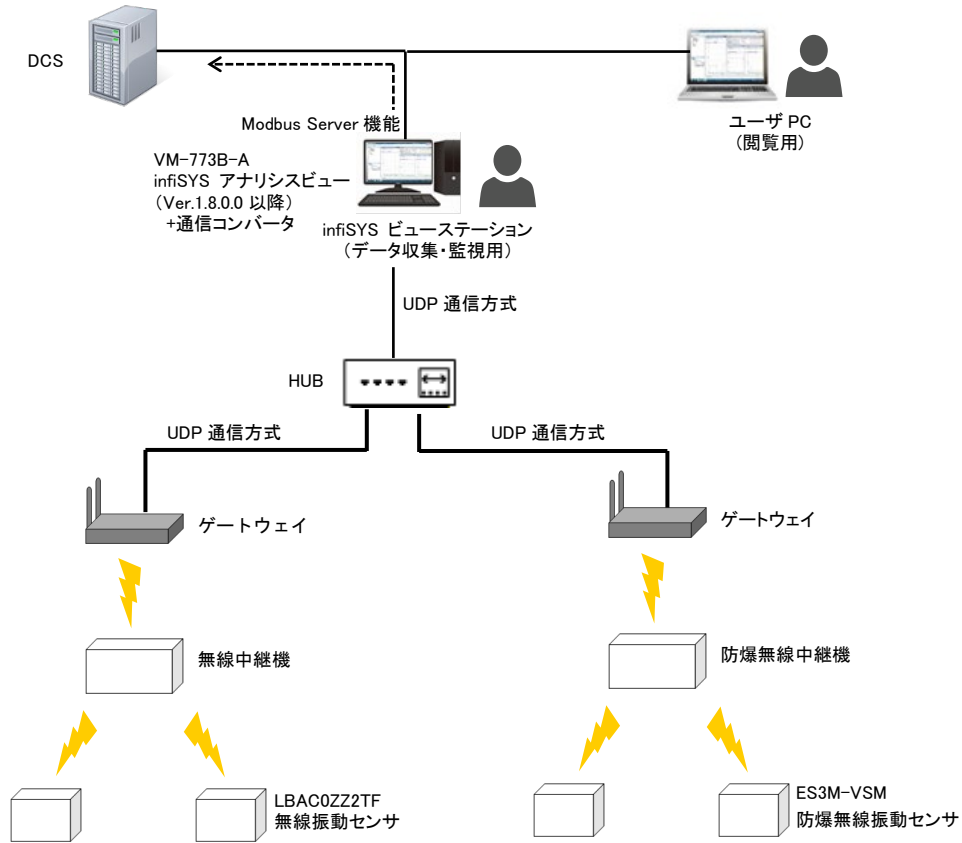


図 1 システム構成例 1

構成

クライアント PC (状態監視)

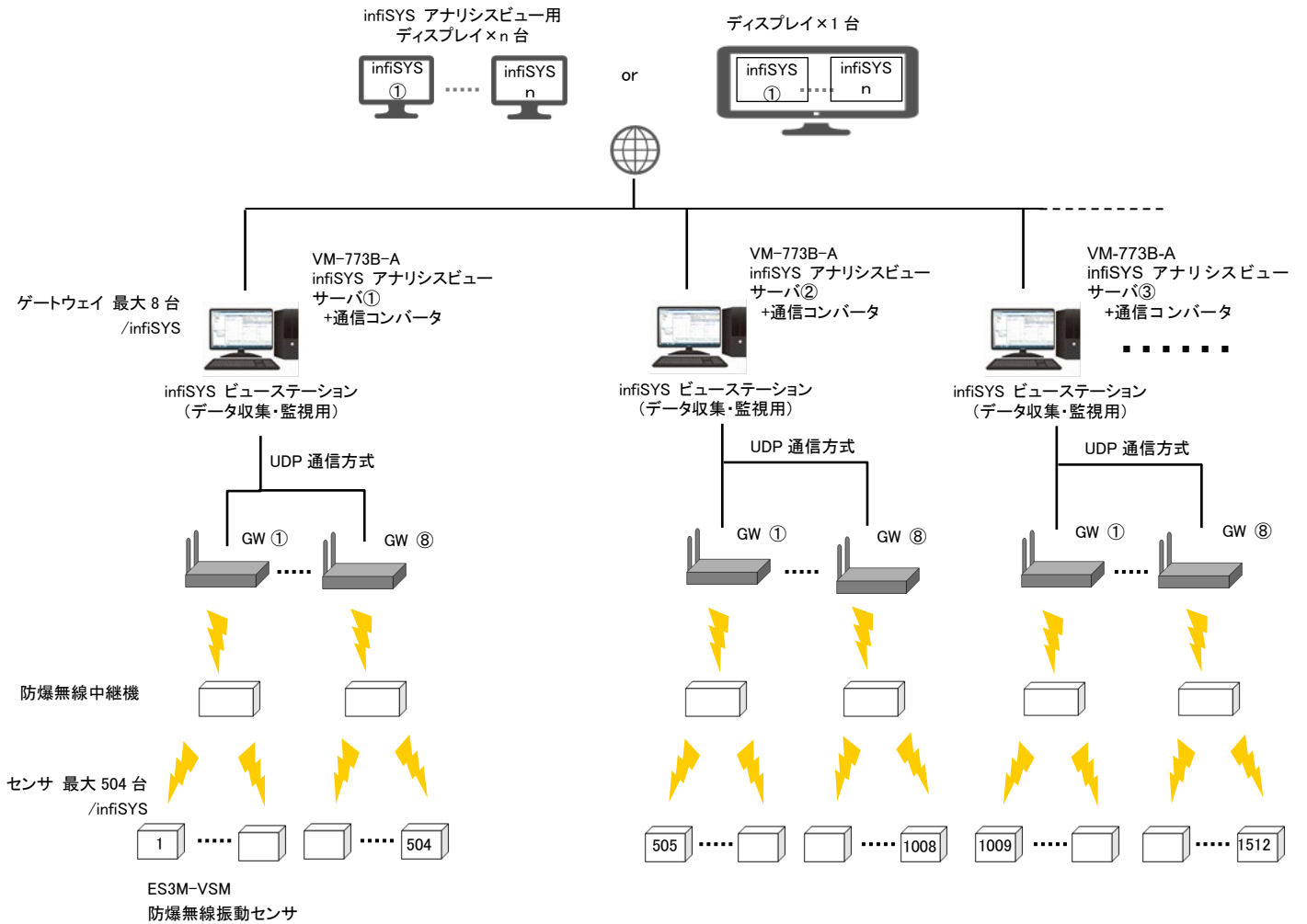


図 2 システム構成例 2